

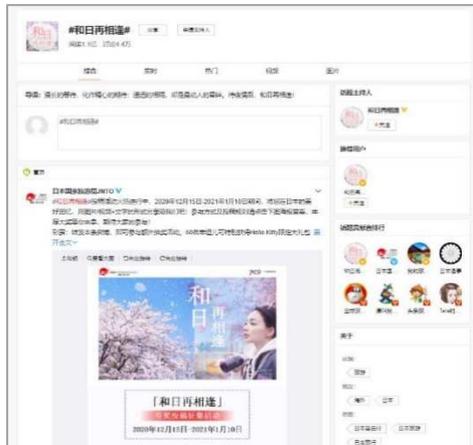
【中国】

11-12 月の市場動向トピックス

- 2020 年 11 月の訪日中国人数は、前年同月比 97.6%減の 18,100 人であった。
- 2020 年 12 月の訪日中国人数は、前年同月比 97.4%減の 18,400 人であった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大により、日本政府による 14 日間の隔離等、査証の効力停止等の対象となっている。2020 年 4 月 21 日以降、中国政府外交部より海外旅行自粛の指示が出されていることから、観光客の渡航は実質的に不可能な状況が続いているが、国際的な人の往来再開に向けた段階的措置として、11 月 30 日から「レジデンスラック」及び「ビジネストラック」が運用されている。自国民の日本からの入国については、14 日間の施設での隔離等が求められている。日本への直行便は、11-12 月も引き続き大幅な運休・減便であった。

11-12 月の主なプロモーション活動

- 微博において、一般消費者に過去の日本での思い出を投稿してもらうハッシュタグキャンペーン(#和日再相逢#、募集期間:2020 年 12 月 15 日~2021 年 1 月 10 日)、および情報拡散施策を実施。消費者目線の情報の量と露出機会を増やすことによって、コロナ収束後の訪日につなげるための興味関心度の維持向上、理解促進を図った。ハッシュタグ付きの全投稿の閲覧数は 1.2 億(1 月 20 日時点)を記録、一般消費者からは投稿やコメント等を通してアフターコロナの訪日を期待する声が多く寄せられた。



微博ハッシュタグページ



KOL やメディアからの拡散投稿



- 11 月 16 日~18 日に開催された 2020 中国国際旅游交易会 (CITM) に出展した。ブース内では、全国各地のパンフレットや浴衣の試着・撮影体験、「安全安心」に向けた日本での取り組みを紹介する動画放映などを通じて、アフターコロナの訪日に繋げるための情報発信を行った。



ブース外観



浴衣の試着・撮影体験